

北東アジア研究交流ネットワーク



# ニューズレター

第 15 号

## 論文

領土問題に必要な大局的視点	西原春夫	1
トピック——北東アジアの新情勢		
新体制下における韓国の政治・経済動向と南北関係の展望	李 燦 雨	7
安倍総理の訪日と日韓関係の今後の展開	吉 田 進	9
日中関係修復から東アジアの安定へ	石 田 護	11
編集後記		14

## 論文

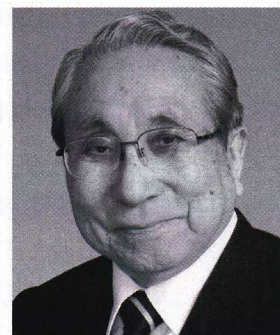
## 領土問題に必要な大局的視点<sup>\*)</sup>

アジア平和貢献センター理事長  
早稲田大学名誉教授・元総長  
西原春夫

## 1. 前言

戦後60年以上が経っているのに、日本は今に至るまで三つの領土問題に悩まされている。悩まされているどころか、戦争の危険が差し迫っている島さえある。領土問題は国の領土主権にかかわるものだから、安易な妥協が許されないことはいうまでもない。しかし、そのような性格を持つ問題だから、関係両国のナショナリズムがせり合うように高まり、その果てに武力による解決さえ辞さない急進的な考えが強まる恐れが本来含まれている。だからこそ領土問題

を論ずる場合には、その問題がこのような性格を持つものであることを意識の根底に置き、戦争を避けるためにはどうすればよいか、大局的な視点から解決策を考えていく必要がある。その大局的な視点とは具体的にどのようなものであるのか、そのような視点に立った場合、どのような解決策が考えられる



<sup>\*)</sup> 本論文は、2013年2月9日に開催された NEASE-Net 第25回政策セミナーでの報告に対応したものである。(NEASE-Net)